

ソフト面におけるまちづくり



続きましてソフト面におけるまちづくりについて、
ご報告いたします。

健康づくり

入庁2年目、健康課の三原と申します。よろしくお願ひします。
私からは健康づくりについて報告します。

政策目標

**健やかで
ぬくもりのある“ちくぜん”**

— 生涯健康づくりの推進 —




母子保健活動

老成人保健活動

健康課では、一生涯を通じた健康づくりの推進を目標に、それぞれのライフステージに応じた保健活動を行っています。

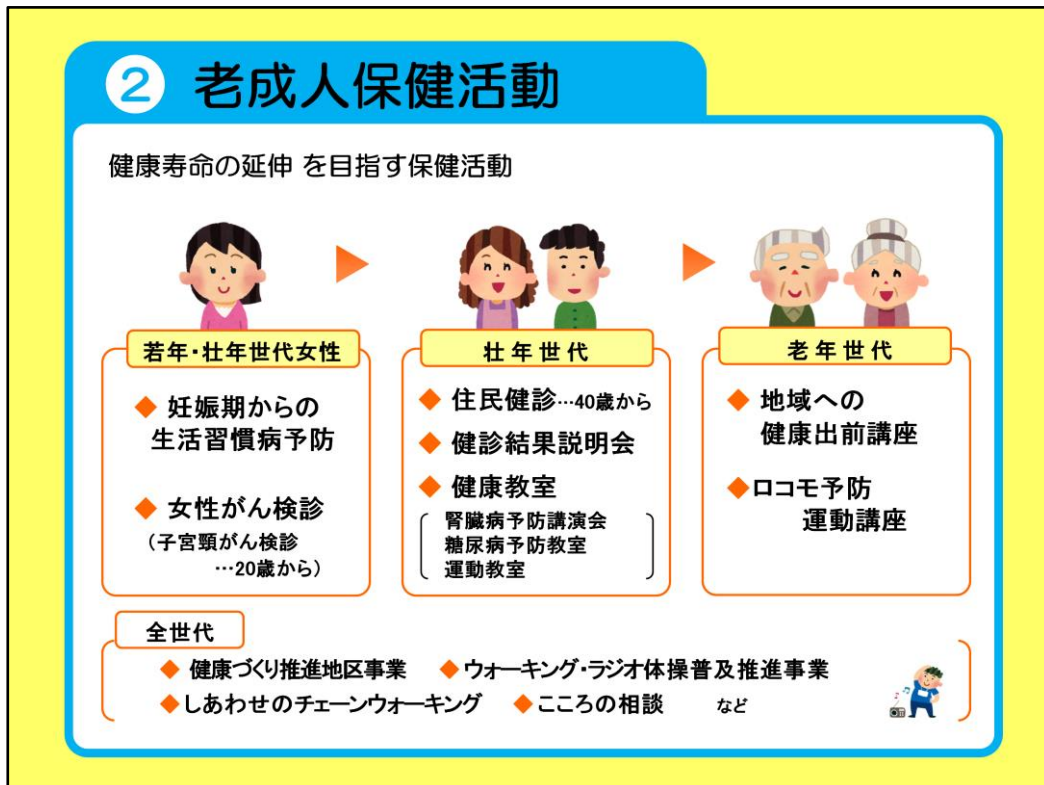
1 母子保健活動

子どもを持つすべての家庭への保健活動



妊娠	出産	育児
◆ 母子健康手帳	◆ 乳幼児健診	◆ のびのび発達相談
◆ パパママ教室	◆ すこやか相談	◆ 離乳食教室
◆ 妊婦健診	◆ 家庭訪問事業	◆ 定期予防接種

子どもを持つすべての家庭を対象にした保健活動を紹介します。
 現在、核家族化などの社会環境の中、
 育児への負担や不満を感じる人が増えています。
 安心して妊娠・出産・育児ができることを目指して、
 健診や教室、家庭訪問や相談事業等の
 子どもとその家族の方への保健活動を行っています。



続いて、老成人保健活動を紹介します。
自分らしい生活を続け、
健康寿命を延ばすことができるように、
若い世代から生活習慣の改善を支援したり、
健康情報の提供などの食事、運動、
心の健康づくりに関する保健活動を行ったりしています。

② 老成人保健活動 (1)

からだの異常を早期発見し、早期改善・早期治療への取り組み

筑前町住民健診

6月～11月に実施

国保
特定健診

対象者：40～74歳の筑前町国民健康保険加入者
健診費用：500円 ※個別健診は無料



がん検診

検診項目：肺がん・大腸がん・胃がん
・前立腺がん・肝炎ウイルス検査
無料クーポン券：肝炎ウイルス検査（対象年齢の方）

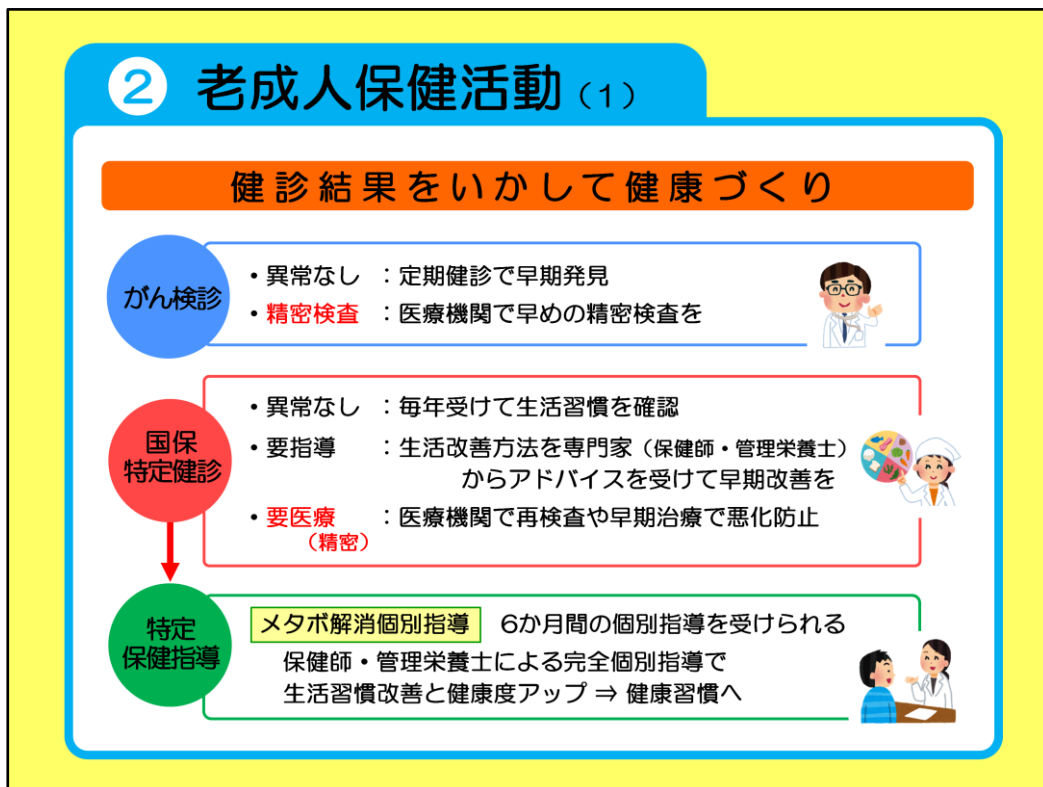


女性がん
検診

検診項目：子宮頸がん・乳がん・骨粗鬆症
無料クーポン券：子宮頸がん（21歳）、乳がん（41歳）



壮年期はがんや生活習慣病が気づかぬうちに進行し、
介護が必要な状態につながる可能性があります。
医療費にも大きな影響があるほかに、
以前のように仕事ができなくなるなど、
自分や、周りの人のライフスタイルを大きく変える要因になります。
特定健診は約8,000円かかる健診を500円で受けることができます。
年1回は受けるようにしましょう。






健診結果は、健康的な生活習慣へ改善するための参考にしてください。
生活習慣改善のための方法を
健康課の保健師や管理栄養士が個別に対応します。
がん検診では、毎年早期がんが発見されています。
精密検査が必要な場合は必ず病院に行ってください。
検診の結果は、100%ではありません。
異常を感じたら、早めに病院で受診するようにしましょう。

② 老成人保健活動 (2)

生活習慣改善への取り組み

運動教室

メタボ予防 ・解消教室	血糖値 改善教室	脂質改善のための 運動教室
<p style="text-align: center;">対象：体重（BMI）、 腹囲が気になる人</p> <p>[前期] 平成28年5月26日 ～9月1日</p> <p>[後期] 平成28年11月17日 ～平成29年2月23日</p> <p>* 前・後期とも 14回ずつ実施</p> 	<p style="text-align: center;">対象：血糖値、 HbA1cが 基準値以上の人</p> <p>[前期] 平成28年5月26日 ～9月1日</p> <p>[後期] 平成28年11月17日 ～平成29年2月23日</p> <p>* 前・後期とも 14回ずつ実施</p> 	<p style="text-align: center;">対象：中性脂肪 ・コレステロール値 が基準値以上の人</p> <p>[前期] 平成28年9月1日 ～9月15日</p> <p>[後期] 平成28年11月24日 ～12月8日</p> <p>* 前・後期とも 3回ずつ実施</p> 

特定健診の結果から、筑前町は運動習慣がない人の割合が、全国平均よりも高いことがわかりました。運動を日常的に行っていただくため、27年度から運動教室を始めています。今年度はメタボ・血糖値・脂質異常症の方を対象にした3つの教室を行いました。教室参加者の9割に改善がみられました。

② 老成人保健活動 (2)

20歳からの運動習慣づくり

運動教室

④エクササイズ
スペース

木曜日の夜 は

コスモスプラザ多目的ホールが

エクササイズ
スペース

になります!!

対象：筑前町在住の
20歳以上の人

自由に
運動できる
空間

血圧・ 体重測定	ストレッチ体操・ 筋力トレーニング など	有酸素性 運動
ミニレッスン		

[実施時間] 毎週木曜
18:00～21:00

* 28年度実施回数：39回

[参加料金] 無料

会場内イメージ

もう一つの運動教室は、毎週木曜日の夜、コスモスプラザ多目的ホールで、自由に運動できるエクササイズスペースという運動教室を行っています。この教室では、ご自分の目的と時間に合わせて自由に運動を行うことができます。20歳以上の住民の方は無料で利用できますので、お気軽にお越しください。

② 老成人保健活動 (3)

みんなで楽しく取り組む健康づくり

ウォーキング・ラジオ体操 普及推進事業

- ◆ **ウォーキング**
登録参加者に「歩数記録ノート」と「歩数計」を提供
- ◆ **ラジオ体操**
登録参加グループに「ちくちゃんスタンプ」、
「スタンプカード」、「スタートセット」を提供

★ 到達回数に達した場合は記念品をプレゼント

ウォーキング 登録者数	1,618人
ラジオ体操 登録団体数	86グループ

(平成27年4月～平成28年12月)

しあわせのチェーンウォーキング



<チェーンウォーキング イメージ>

- ◆ ウォーキングの良さをより多くの人に
- ◆ 1台の歩数計を、次の人へタスキのようにつなぎ、健康の輪を広げていく
- ◆ 町全体での地域交流や健康意識の向上

平成28年6月から200個の歩数計が町内を回っています

その他に、運動に取り組むきっかけにさせていただくため、27年度からウォーキング・ラジオ体操普及推進事業、今年度からは人から人へつないでいく

「しあわせのチェーンウォーキング」を実施しています。

6月末まで実施していますので、

お手元に、赤いバックが届きましたら、

ぜひやってみてください。

次の人へつないで、健康づくりの輪を広げていきましょう。

② 老成人保健活動（4）

各区での 地域ぐるみの健康づくり活動を支援

健康づくり推進地区事業

目的

1 食と運動と健康をテーマに、地域の自由な発想による自主的・自発的な取り組みを進める

2 町民の健康意識の向上、健康の維持・増進を図る

3 地域コミュニティの育成に資する



助成について



◆ 助成額
10万円～最高30万円
+ 備品代10万円

◆ 助成期間 3年間

《参考》27年度 交付確定額

依井区	182,936 円	中牟田町区	90,889 円
久光区	200,000 円	朝日西区	156,800 円
南部コミュニティ 運営協議会	300,000 円	四三嶋区	150,000 円
下曽根田区	200,000 円	安野区	100,000 円

最後に、健康づくり推進地区事業を紹介します。

これは、地域の自発的な健康づくりにかかる費用を、町が助成するというものです。

27年度は8地区に助成を行いました。助成額は最高30万円です。




助成期間は3年間ですが、

事業が終わってからも地域での健康づくりを続けていただけるよう、備品代を別に10万円助成します。

② 老成人保健活動（4）

区民と区長との 参加・協力による様々な活動

健康づくり推進地区事業

<h4 style="text-align: center; background-color: #90EE90; border-radius: 10px; margin-bottom: 5px;">栄養講座</h4> <ul style="list-style-type: none"> ◆ メタボ予防 ◆ 動脈硬化予防 ◆ 高血圧予防 	<h4 style="text-align: center; background-color: #FFD700; border-radius: 10px; margin-bottom: 5px;">運動講座</h4> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ウォーキング講座 ◆ 笑いヨガ ◆ 脳トレ体操 ◆ 腰、ひざ、肩こり予防 ◆ 筋力の維持 
<h4 style="text-align: center; background-color: #ADD8E6; border-radius: 10px; margin-bottom: 5px;">健診受診率向上対策</h4> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民健診を受けよう ◆ 疾病の早期発見・早期治療 ◆ 糖尿病・高血圧 ・CKD予防健康講座 ◆ 健康寿命の延伸 	<h4 style="text-align: center; background-color: #FFB6C1; border-radius: 10px; margin-bottom: 5px;">農地を利用した健康づくり</h4> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 他年齢との交流 ◆ 農作業を通して つくる喜び ◆ 体を動かす楽しさ 

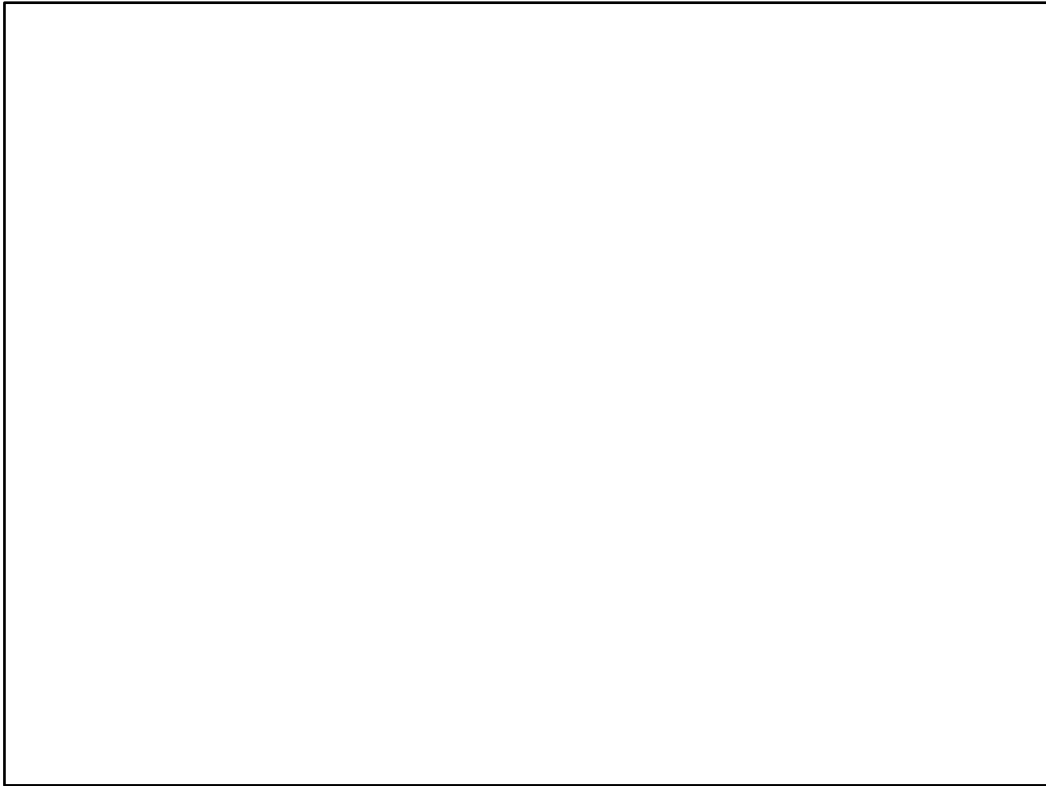
各区で、区長さんを中心に栄養講座や運動講座、健診受診率向上対策などに取り組んでいただいています。自分の健康のため、大切な人の健康のためにも各区で人と人とのつながりを大切にした世代を超えた健康づくりを支援します。



町の人が元気だから、町全体も元気。
活気あふれる筑前町を目指します。
以上で健康づくりに関する報告を終わります。

教育施策

入庁2年目、教育課の松本と申します。よろしく申し上げます。
私からは、教育施策についてご報告します。
まずはこちらをご覧ください。

**【動画自動再生:約1分】**

これは、昨年11月に、三輪小学校で開催された学習発表会の様子です。英語クラブの子どもたちが、自分の夢を流暢な英語でスピーチしています。多くの参観者の前で堂々とスピーチする子どもの姿は、町が目指す国際的な視野を持つ「グローバル人材」の育成と重なるもので、町の教育施策を象徴するものです。

教育支援大綱・総合戦略に基づいた教育施策の推進

筑前町教育支援大綱

【基本理念】 未来を担う子どもが主人公

ちくぜんっ子は
地域で活躍するもよし、
世界に羽ばたくもよし。

そして教育は未来への架け橋である。



文武不岐（学力・体力プラスオンリーワン）

「豊かな学力、豊かな心、豊かな体」とともに、個性を光らせ、社会を生き抜く力を身につけ、また学校・家庭・地域が協働し、夢や志を持った子どもを育てます。

フードに学ぶ

筑前町には恵まれた風土とFOOD（食）があります。緑豊かな自然環境の中で育まれた食や文化を学び、町の基幹産業である農業を学び、先人たちが築き上げてきた歴史を学べる環境を整備します。

グローバルな人材育成

東京オリンピック・パラリンピックの開催等によるグローバル化にむけて、国立筑前高等学校少年自然の家などを活用した地域間交流や国際交流の充実を図りつつ、国際理解教育を積極的に推進し、国際的視野を持つ人材を育成します。

平和を学ぶ

平和環境の発信基地である筑前町立大刀洗平和記念館を活用した平和学習を充実させます。忘れてはならない戦争の悲劇を通して平和の願いを後世に伝えるため、平和の大切さを育む取り組みを進めます。

「おかげさま」で育む郷土愛

筑前町に居住している「おかげさま」の精神を受け継いだ、郷土を愛する子どもたちを育てます。また、昔ながらの近隣の人間関係を大切にした「おかげさま」の精神で支え合い助け合う地域ボランティアやコミュニティスクールを推進します。

平成27年12月17日 筑前町長 田頭喜久巳

【基本理念】

未来を担う子どもが主人公

ちくぜんっ子は

地域で活躍するもよし

世界に羽ばたくもよし

そして教育は未来への架け橋である

● 知・徳・体のバランスの育成

● おかげさまの文化に根付く
筑前町を愛する 郷土愛

● 国際的な広い視野を持った
グローバルな人材の育成

ちくぜんっ子は、地域で活躍するもよし」
「世界に羽ばたくもよし」
「教育は未来への架け橋である。」
「筑前町教育支援大綱」が策定されました。

「知・徳・体のバランスのとれた力」を身につけ、
おかげさまの文化が根付く筑前町を愛し、
国際的な広い視野を持ち、
あらゆる場で活躍できる姿を目指しています。

教育支援大綱・総合戦略に基づいた教育施策の推進

筑前町総合戦略(8Pプラン)

05「教育環境の整備・推進」

②英語教育の充実

● 中学校卒業までに英検3級 取得 5割 以上

POLICY

05

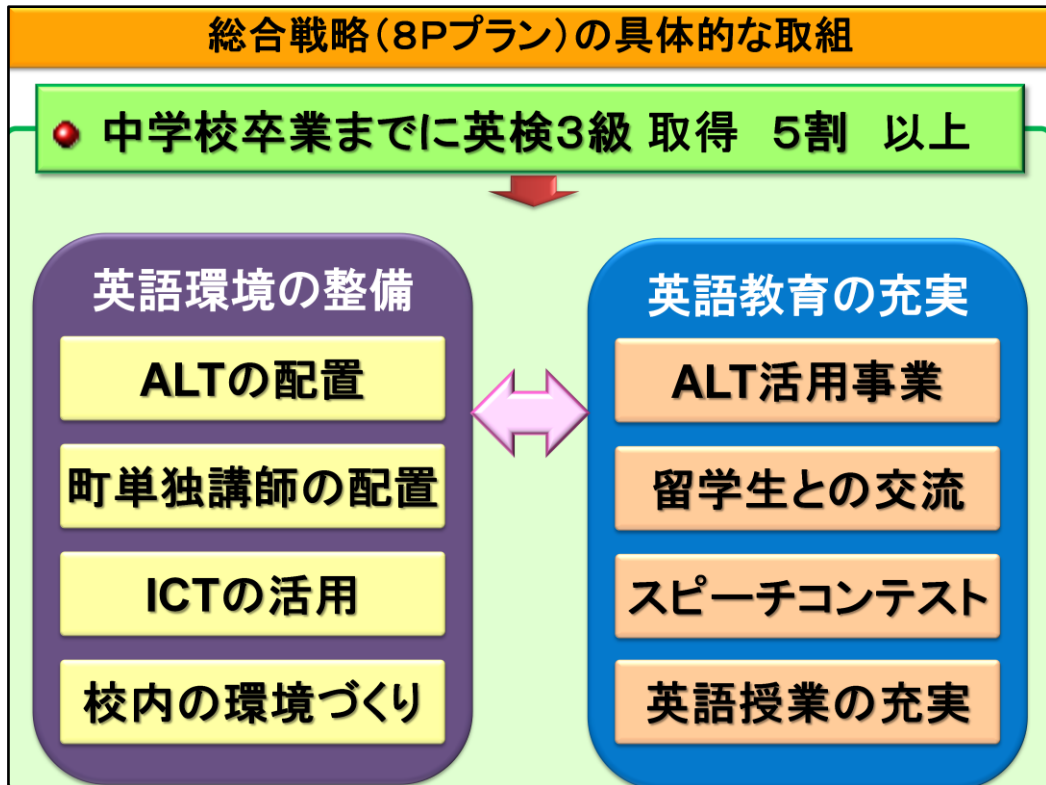
変化の激しい社会を生き抜く力

イラストはイメージです

● 確かな英語力の習得

● グローバル社会に対応できる能力の育成

総合戦略、いわゆる「ハッピープラン」でも、英語教育の充実を掲げています。子どもが、変化の激しい社会を生き抜いていくために、グローバル社会に対応できる力を身につけることは、必要な資質や能力であると考えています。ハッピープランでは、「中学校卒業時までに、5割以上の子どもが、英検3級取得の英語力を身に付ける」ことを具体的な目標に掲げています。



教育委員会は、
英検 3 級取得のための環境整備を本年度の重点施策と設定し、
「英語環境の整備」と「英語教育の充実」の
2つを柱とした取組を実施しました。
はじめに、
英語環境の整備の柱から、
ALTの配置について説明します。



本町では、2名のALTがいます。
2名体制をとることで、
すべての子どもたちが、
毎週1時間は、
ALTと一緒に学習することができるようになります。

総合戦略(8Pプラン)の具体的な取組

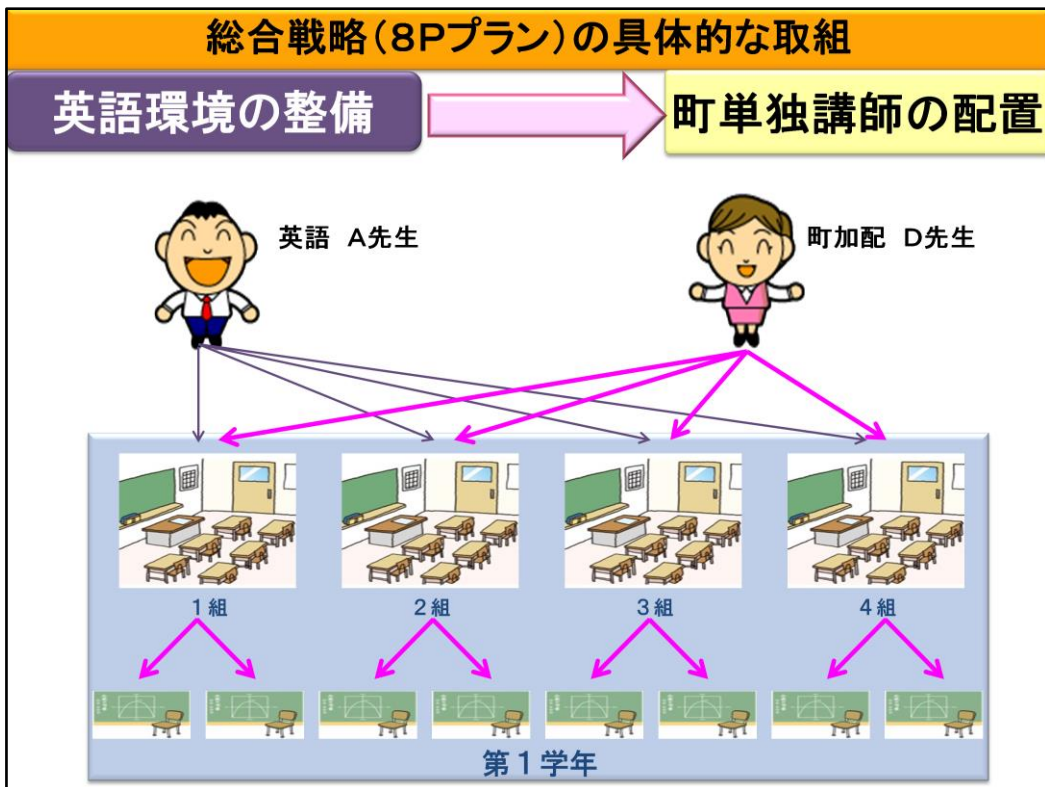
英語環境の整備



ALTの配置



また、ALTが決められた曜日に、学校に行くことで、担任とALTが連携した計画的な英語の授業づくりが可能となり、コミュニケーション能力の向上に努めています。



次に、町単独常勤講師の配置です。

本町では、中学校に、町単独で2名の常勤講師を雇用しています。

現在は、英語科と数学科の2名ですが、

来年度は、2名とも英語科の常勤講師を配置する計画です。

中学校入学後から、英語科の授業を少人数に分割し、

すべての子どもに「英語が楽しい」と実感させるようにします。



次にICTの活用です。

ICTは、子どもの学習意欲を引き出すとともに、主体的な学習をサポートできる有効な道具の一つです。



すべての小中学校に、電子黒板を設置しています。
電子黒板は、パソコンのような使い方ができます。
視覚に訴えることができ、
画面を拡大したり、
映像を何度も繰り返したりすることができます。
特に、小学校で活用しています。
子どもは、英語の音声と映像とが一致し、
自然と英語のフレーズが身につけていきます。



このような、電子黒板の有効性を認識し、
27年度に電子黒板を小学校の普通教室に設置しました。
今年度末までに、すべての中学校にも設置する計画です。

総合戦略(8Pプラン)の具体的な取組

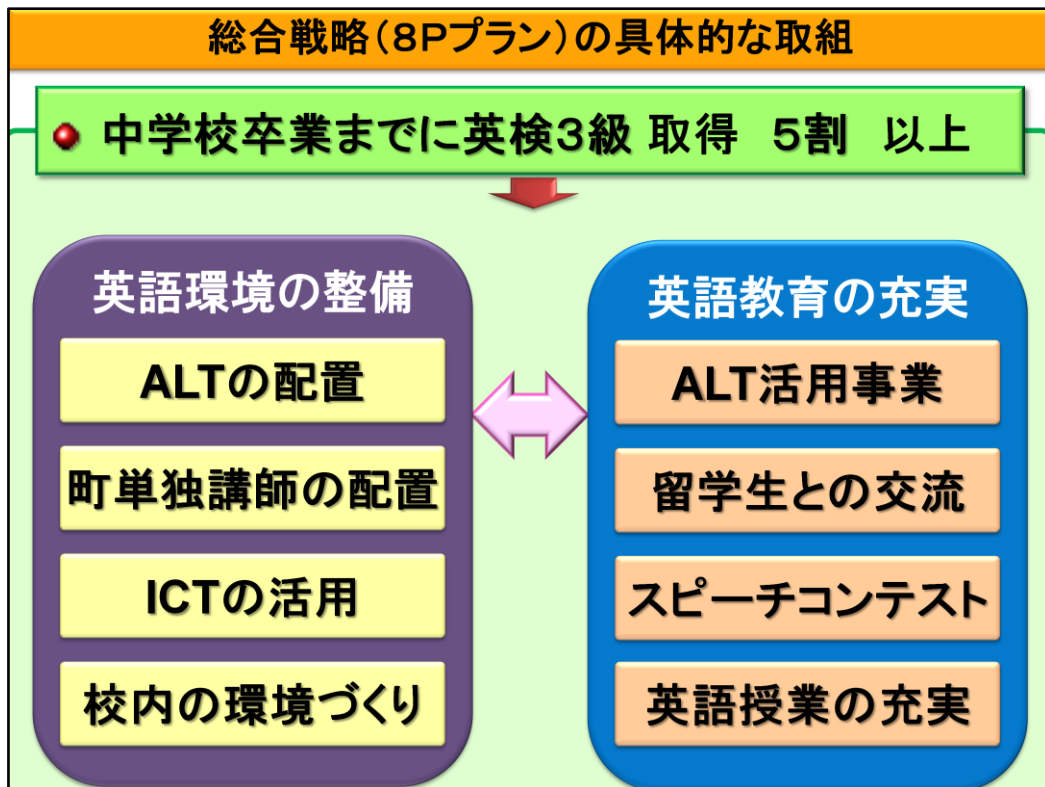
英語環境の整備 → **校内の環境づくり**

Good Morning,
Nakamuta Elementary
School students!
Today is Monday.
The weather is Sunny.
Have a nice day!

教育委員会では、「英検3級取得」に向け、今年度は、英語への興味・関心を高める校内の環境づくりに力を入れてきました。はじめに、「英語を使った校内放送」です。ALTに協力してもらい、子どもが英語で放送します。毎日数回、スピーカーから英語が流れてくることで、自然と英語への関心が高まってきます。



給食の時間に、ランチルームで、
ALTによるワンポイント英会話を取り入れている学校もあります。
身近な食べ物などを英語で表現するにはどう言えばよいのか、
子どもたちは自然と英語のフレーズを身につけていきます。



次に、英語教育の充実の柱について説明します。



ALTを活用した英語教育推進事業についてです。

2人のALTを活用した

小学校3・4年生対象の「ALTとあそぼ!!」を実施しています。

夏休みを利用し、各学校を会場に実施しています。



英語を使った、ゲームや歌、ダンスなどの体験活動を通して、外国の言語や文化への興味、親しみを持つことができることをねらいとしています。今年度は、129人が参加しました。



次に、小・中学生が対象の、
立命館アジア太平洋大学留学生との交流です。
日頃、学校で学んだ
英語でのコミュニケーション能力を高めることをねらいとしています。
留学生の国の食べ物や文化、民俗などについて、
英語でのプレゼンテーションを受けています。



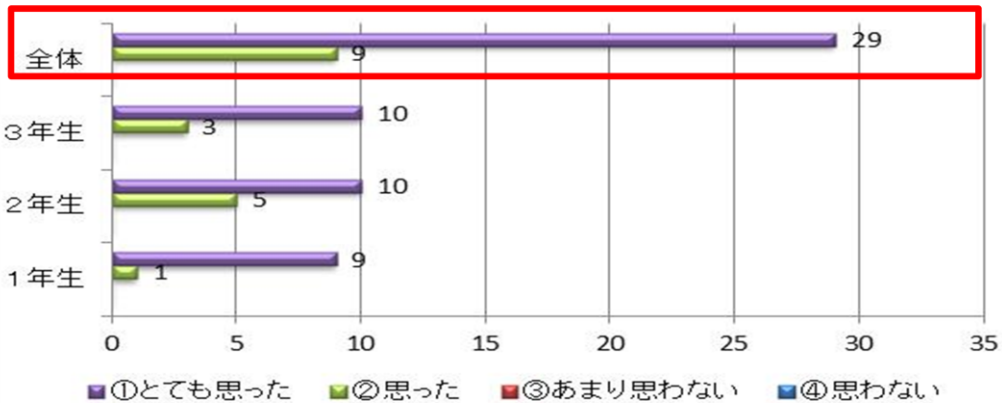
授業で習得した英会話のフレーズや知っている英単語はもちろんのこと、時には、ボディーランゲージを駆使しながら、真剣に、楽しく留学生との交流を楽しみました。

総合戦略(8Pプラン)の具体的な取組

平成28年度 成果と課題

「英語でコミュニケーションがとれるようになるために、もっと英語を勉強してみたい」と思いましたか。

英語を使ったコミュニケーションの意欲



交流後のアンケート結果で

「英語でコミュニケーションがとれるようになるために、もっと英語を勉強したい」とすべての生徒が回答しています。

総合戦略(8Pプラン)の具体的な取組

平成28年度 成果と課題

活動後の感想

◇ 最後に、一番心にのこったことなど、自由に感想を書いてください。

最初は、すごく緊張していて、全然話しかけられなかったけど、ビンゴゲームとか、各国の紹介とかで、少し緊張もほぐれて、話しかけられるようになった。フキの時も、話しかけることができて良かった。英語を話すには、とりあえず何かやってみないと、上達しないんだなと改めて思った。本当にいい経験になった。ありがとうございました。

**最初は緊張して、全然話しかけられなかったけど、
…話かけられるようになった。
英語を話すには、とりあえず、何かやってみないと
上達しないと改めて思った。**

また、感想には、「英語を話すには、とりあえず、何かやってみないと上達しないことが分かった」とあり、身に付けた英語を実際に使う機会と場を設けることの大切さを示しています。



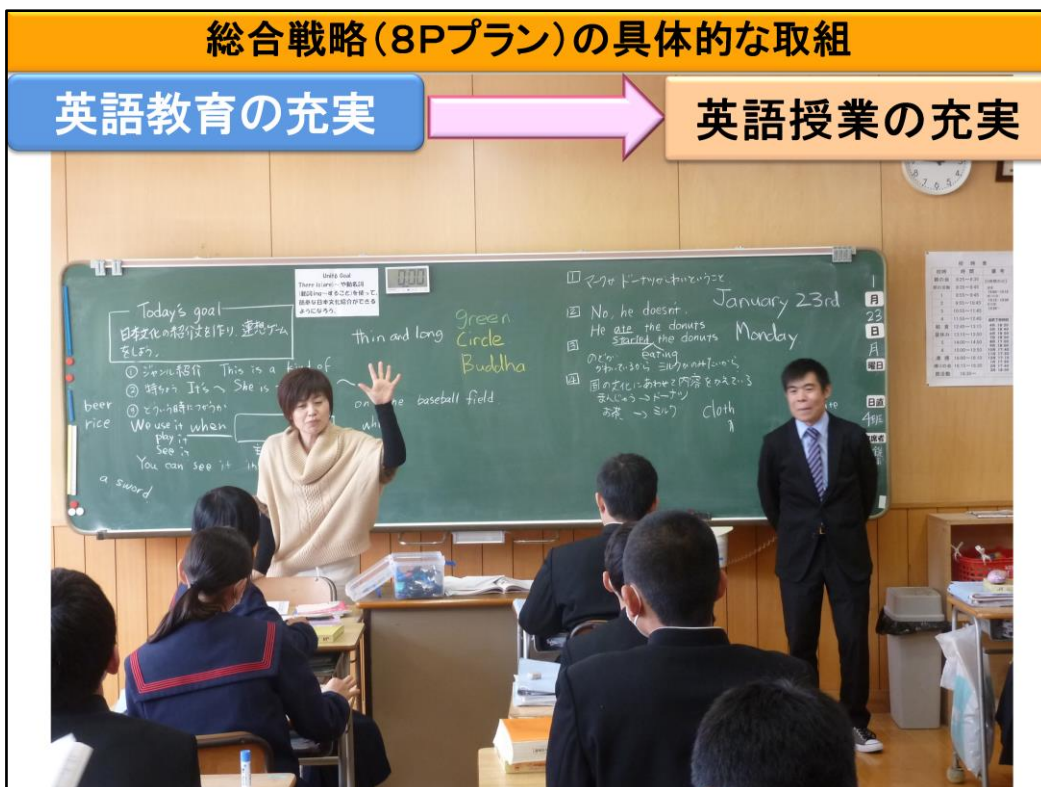
来年度も、本事業を継続し、
子どもの英語への意欲と生きた英語力の育成に努めていきます。



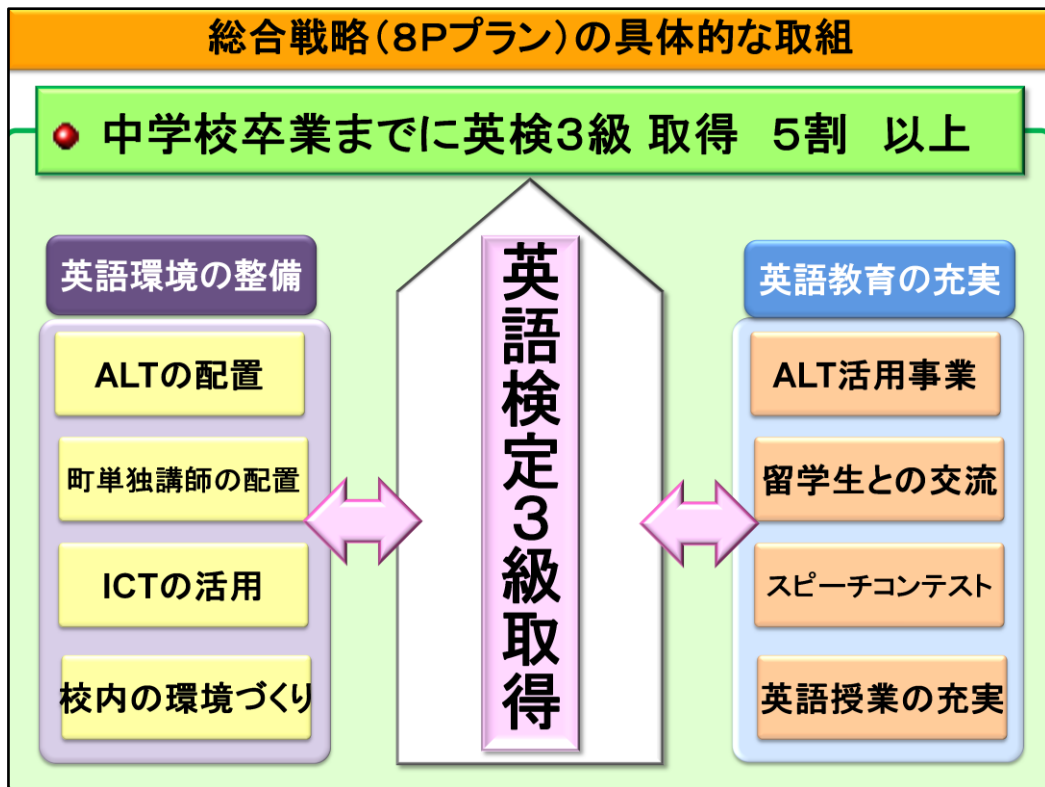
次に、英語による意見発表についてです。
中学校でも、英語による意見発表を実施しています。
中学2年生が、クラスの代表として、将来の夢について、
英語でスピーチします。
生徒はもちろんのこと、参観の保護者や地域の方から、
どよめきが起こるほど、
流暢で簡潔な英語スピーチを聞くことができました。



最後に、英語の授業づくりの工夫です。
 子どもの英語への意欲や関心を高め、
 英語力を確実に身につけるものは、
 なにより、授業の他にありません。



中学校の英語の授業では、
「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能を
バランスよく身につけさせていくことに重点をおいています。
単語を覚えるだけの授業ではなく、
英語科教員とALTの連携により、
ほとんど英会話だけで授業が進行する、
「オールイングリッシュ」を意識した授業を取り入れています。
また、会話する時間を多く設定し、
「話す」ことや「聞く」ことの力をつける工夫をしています。
今後も、興味関心を高め、
使える、使いたくなる英語となるよう、
学校と連携し、工夫していきます。



以上、英語教育の充実について説明しました。
今年度の成果、課題を踏まえ、
来年度は、児童生徒の英語力強化の一環として、
すべての中学生が英語検定を受検できるよう、
検定料の補助を現在検討しており、
英検3級取得に向けた具体的な施策を進めていきます。
以上で、教育施策に関する報告を終わります。



筑前町では、都市部で活躍してきた意欲ある人材を積極的に受け入れ、新たな視点や発想力により地域の活性化を図るため、昨年7月より5人の地域おこし協力隊を迎え活動していただいています。5人の隊員は筑前町に移り住み、それぞれの知識や経験、特技などを活かし、さまざまなミッションを果たすべく活動しながら、町への定住、定着を目指しています。本日は観光ツーリズムプランナーとして活動している、橋本さんに活動内容をお話しいただきます。

皆様こんにちは。
筑前町地域おこし協力隊観光ツーリズムプランナーの橋本です。
活動報告を始めさせていただきます。

観光ツーリズムプランナー

<<ミッション>>

自然や歴史・文化資源など豊富な観光資源を活用、
また、まつりやイベントを通じた地域の賑わい・
活性化を創出し観光客の増加を目指すとともに、
全国に「筑前町ファン」を増加させるような取り組み

まずは観光ツーリズムプランナーとしての
私のミッションですが、
自然や歴史・文化資源など豊富な観光資源を活用、
また、まつりやイベントを通じた地域の賑わい・活性化を創出し
観光客の増加を目指すとともに、
全国に「筑前町ファン」を増加させるような
取り組みを行うことです。

- ①観光情報の提供、発信による
誘客のための営業活動（町HP・パンフ）
- ②観光資源の掘り起こし、みがき上げを行う
- ③県及び観光関係団体との連携を図りながら
その活動支援を行う
- ④町内の各種イベント（祭など）のサポート

具体的な内容としましては

観光情報の提供、発信による誘客のため、町のホームページ、パンフレットなどにより営業活動を行う

観光資源の掘り起こし、みがき上げを行う

県及び観光関係団体との連携を図りながらその活動支援を行う

町内の各種イベントへのサポート

の4つとなります。

私は東京の出身で筑前町のことも福岡のことも、九州のことすら知らないことだらけでしたので、

まず、筑前町を知る

＝会議や研修に参加しました＝

まずは筑前町を知るというテーマで今年度は活動をしました。

YASU FES ブース参加



夜須高原音楽祭「YASUFES」に
地域おこし協力隊としてブースを出して
アンケート調査をしたり、

ちくちゃん枝豆販売会



福岡県庁ロビー

みなみの里

ちくちゃん枝豆解禁の際には
県庁ロビーやみなみの里で、販売会に参加しました。

ふらっとあさくら 出演



住民による手づくりの情報発信番組
「ふらっとあさくら」への出演

ど〜んとかがし祭 ちくちゃんカフェ班



ど〜んとかがし祭りではクロダマルスイーツを提供した
ちくちゃんカフェで
メニュー表作成や記録係を担当しました。

地域おこし協力隊サミット



九州サミット【小国】



全国サミット【東京】

全国に約4,000人いると言われている
地域おこし協力隊のサミットにも参加しています。
7月に熊本の小国で行われた九州サミット、
11月に東京で開催された全国サミットです。
九州内、全国の地域おこし協力隊との交流を図っています。

3つの取り組んだこと

筑前町でのさまざまな経験を踏まえて、
3つのことに取り組みました。

①大刀洗平和記念館 周辺ランチMAP制作



記念館にて配布・
甘木鉄道・筑前町内
3駅にて掲示

ひとつめは太刀洗平和記念館周辺ランチMAP制作です。
記念館では、ランチができる周辺のレストランをよく尋ねられるということで、
周辺のレストランをまとめた地図を作成しました。
11か所の飲食店すべてで取材と撮影を行いました。
昨年11月に完成し、記念館での配布はもちろん、
甘木鉄道の山隈、大刀洗、高田の3駅のホームに掲示もしています。

②ちくぜん散歩 (女性向け町パンフレット) 制作



現在制作中・・・来年度より配布予定

ふたつめは女性向けパンフレット「ちくぜん散歩」の制作です。
こちらはまだ完成しておりませんが、
来月完成予定で現在制作をすすめています。
既存のパンフレットとは別に、
女性目線・いいもの・素敵なもの・かわいいものを取り上げる
パンフレットを協力隊手作りで作成しています。
写真は撮影を行った時のものですが、
モデルも町のみなさんにご協力いただいて、
とても楽しく撮影することができ、いい写真が撮れています。

③巨大ワラかがし班



最後に、たくさん見たと思いますが、
どーんとかがし祭り・ワラかがし班での取組です。

爪づくり



制作自体では爪の色塗りをさせていただきました。
ワラをとるワラ取りにも参加させていただき、
人生で初めてたんぼに入り、
軽トラの後ろに乗せていただきました。

制作過程の記録・撮影



また制作過程、制作完成後に写真や動画で記録をしていました。

制作動画作成



すべての動画の再生回数12500回【2017年1月現在】

その動画を編集をして町のホームページ・YouTubeにアップをしました。
現在動画の再生回数は12500回に達しています。
ここでは記録をして発信することの重要性を
ここで改めて確認することができました。
次でお見せする映像は全国放送で流れたものです。



【動画:自動再生1分8秒)】

以上をもちまして、
地域おこし協力隊としての私の活動報告を終わります。
ご清聴ありがとうございました。